

TAKE FREE

おみたマガジン

第193号

July.2026

おみた *magazine*

OMITA MAGAZINE

小美玉市の
文化・芸術 総合情報誌

小美玉市の文化・芸術 総合情報誌 おみた magazine 第193号

〒319-0132 茨城県小美玉市部室1069 TEL: 0299-484466
【企画・取材】みのんば編集局(四季文化館みのれ内)
【編集・発行】小美玉市文化芸術課 令和8年7月23日発行

小美玉文化情報
日々発信中!

アピオス
みのれ
コスモス
f f
@ @
@ @

アートと交わる
わたしがひかる

撮 影: 大嶽 一省さん
モデル: 元木 楓希さん



Omitama

きらりびと

■ 編集後記

昨年「いばらきデザインセレクション」に選定されたことを受け、おみたMagazineの生い立ちが茨城新聞で紹介されました。三町村合併前からの文化情報誌のDNAが今も受け継がれていることに身が引き締まります。今後も一意専心、地域の魅力を届ける取材・編集に携わっていこうと決意を新たにしました。(遠藤 雅暉)

■ みのんば編集局

編集長 藤田 佐知子
記 者 遠藤 雅暉、加藤 篤子、瀧澤 比佐乃、福島 ヤヨヒ
保田 孝雄
カメラマン 赤上 恵、大山 進、齋藤 翔、齋藤 友幸、関 香代
橋本 笑優

■ アートディレクター/デザイナー 清水 すず菜 (つばめ座)

バックヤード 大解剖!

私たちが普段見ている景色は、文化ホールのほんの一部。
「あの扉の向こう側はどうなっているの?」
そんな好奇心から、市内の3館(アピオス・みの〜れ・コスモス)の
バックヤードへ潜入!案内役のスタッフとおしゃべりしながら歩くと、
秘密の設備と彼らの温かい素顔が見えてきました。



小美玉市小川文化センター
アピオス

〒311-3423
茨城県小美玉市
小川225番地

まず初めに、アピオスの茨城トヨタゴ
ールドホール(大ホール)のバックヤードを
探検!アピオスの山形さんに案内してもら
いました。

Q このたくさんのライト、
全部でいくつですか?



A 大小合わせて、
150個ぐらいあります。

基本的には、照明室から一括で操作でき
ますが、ホールの一番奥からステージを
照らす「ピンスポットライト」は手動で
操作します。館内で一番大きいライトで、
すごく明るいです。舞台上の演者だけで
なく、客席に降りた時でもしっかりと光で追
うことができますので、演出の幅がグッと

広がるのがいいところですね。

Q 客席は
いくつあるんですか?



A なんと、1,081席も
あります!

すべての客席は座面が広く、とても座り心
地が良いんですよ。どの席に座ったお客様
にも同じように楽しんでいただけるよう、
音響や照明も工夫を凝らしています。
この大きなホールが満員になるのは、企
画を立てる「住民実行委員」の皆さんの
情熱があってこそなんです。これから
も、みんなで共に創り上げるアピオスの
スタイルを大切にしていきたいですね。

「舞台を知る」イベントpickup!

●みの〜れ劇場探検ツアー

8月2日(日)10:00~計4回
場所:四季文化館みの〜れ



●劇場技術者認定取得講座

8月21日(金)・22日(土)
場所:四季文化館みの〜れ



●アピオス劇場探検

12月13日(日)10:00~計5回
場所:小川文化センターアピオス



池花池



ひょうたん美術館



国道6号



希望ヶ丘公園



羽黒古墳群

鹿島神社

やすらぎの里小川



小美玉市四季文化館

みの〜れ

〒319-0132
茨城県小美玉市
部室1069番地

続いて、みの〜れの裏側を探検!
普段は見ることのできない舞台の裏側を、
案内役の阿部さんと巡ります。舞台袖に
立って最初に気になったのは、客席から
は気づかない天井の高さです。

Q 天井がものすごく
高いですね!



A 実は、天井まで
22メートルくらい。

舞台の天井を「すのこ」と呼びます。みの〜
れは舞台上空全体がフラットに高く造ら
れているのが特徴で、大きな装置を吊る
せるだけでなく、新体操などでも体育館
と同じ感覚で道具を高く投げられると
好評なんです。…実際に上がってみ

ますか?裏ではたくさんの設備に支えら
れているのがよく分かりますよ。

Q 壁についているパネル
動くんですね!



A 残響可変パネルと
いいます。

このホールは音響特性が良く、生音でもしっ
かり響きを拾えるんです。スピーカー等で音
を大きく出す場合も、このパネルを張り出
せば余計な反響を吸収できるので、とても
音を作りやすいホールなんです。

みの〜れの裏側はまるで秘密基地!舞台
装置や音の仕組みを知り、これからホー
ルを見る目まで変わりそうです!

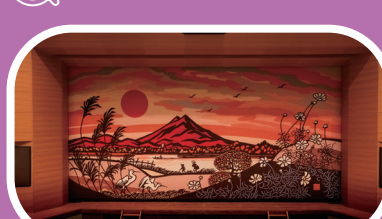
コスモス
学ぶ楽しさ∞

小美玉市生涯学習センター
コスモス

〒311-3433
茨城県小美玉市
高崎291-3

最後に、コスモス探検へ出発。
ホールの中でまず観客を魅了するのはス
テージに降りた緞帳です。
コスモスの沼田さんを尋ねてみました。

Q とても素敵な緞帳ですね。



A 滝平二郎さんの
きりえ作品がモチーフ。

32年前の開館時、市内出身のきりえ作
家・滝平二郎さんに原画制作を依頼し
ました。作家が故郷の筑波山や霞ヶ浦
をイメージして描いた「筑波夕照」が、見
事な京都西陣織の緞帳になっています。
終演後、出演者や観客の皆さんがこの
緞帳と同じ夕陽の風景を見ながら家路

につけるようにという願いが込められて
います。コスモス自慢のひとつですね。

Q 舞台袖にロープの束が
ないんですね!



A すべての吊物が
電動化されています!

背景幕や音響反射板などの「吊り物」を上
下させるシステムが電動化されているん
ですよ。舞台の天井部にモーターとワイヤ
ーコイルが仕込んであり、スイッチ一つで動
かすことができます。開館当時から導入さ
れたシステムなので当時は珍しかったか
もしれませんが、このおかげで、少ないスタッ
フでもスムーズに操作できるんです。

ホールの人に
聞いてみた!

01



小美玉市小川文化センター アピオス
山形 健樹さん

好きな場所は座り心地のよい客席。作り手の緊
張から離れて冷静に舞台を眺める時間が好きで
す。自慢は加減の利く手動の綱元や生音コンサー
トを叶える反射板などの設備。でも何より嬉しい
のは、10年前にアピオスで出会った子どもたち
が立派な若者に成長し、今、新たな発見をもた
らしながら一緒に舞台を作れることです。

02



小美玉市四季文化館 みの〜れ
阿部 喜一さん

落ち着く舞台袖や、ふうっと意識が遠のくほど
心地よい客席が好きです。みの〜れの自慢は、
飲食禁止のルールが「住民との対話で決まっ
た」と胸を張って言えること。そして、一番嬉し
いのは、過去のデータを活かした私のサポート
に対し、リピーターの方から「あなたがいない
と困る!」と頼りにしていただける瞬間ですね。

03



小美玉市生涯学習センター コスモス
沼田 利勝さん

一番好きなのは客席後方から舞台を見渡す調
光室です。コスモスの自慢は地域の声を反映し
て造られた美しい音響の響きと、地元の方でも
使いやすい規模感。バレエの発表会などで子
どもたちの演目に合わせて照明を操作し、それが
ピタッと決まって「照明が良かった!」と心から
喜んでくれた瞬間が一番嬉しいです。

特集

舞台裏は、
まちの「実験場」。

荻原 菜美
株式会社ジャスト 照明担当

音響・照明から企画運営、舞台管理まで行う株式会社ジャスト(水戸市)勤務。主催者と劇場で舞台を創り込む「のりこみ」のプロとして、小美玉市の文化を支えるアピオス、みの〜れ、コスモスの3館で深く寄り添い活動している。



里澤 暢子
生涯学習センターコスモス
ワークショップ参加者

リトミック講師として幼保園に出向く。音楽を通して子どもたち個々の能力の向上に努めている。子育てが一段落したため、自身の生活スタイルに合わせた参加ができると「ポットラック楽団ワークショップ」へ参加。



阿部 喜一
四季文化館みの〜れ
舞台技術管理マネージャー

四季文化館みの〜れ誕生以前より同館に関わり、舞台技術管理マネージャーとして20年以上勤務。主に音響・照明の機材など舞台機構、ホール全体の安全管理をしている。

あの日のステージ、
私の見えないところで起きていたこと

誰もが主役になれる場所

里澤 私は、自宅で長い間眠っていたヴァイオリンを持ちだし、ポットラック楽団に参加しました。「ポットラック」は、身近にあるものを持ち寄るという意味だそうです。小中学校で使ったリコーダーはなじみがありますね。空き箱も叩いて鳴らせば立派な楽器になります。講師の先生がそれぞれの楽器に合わせ、参加者の演奏レベルに合わせて楽譜を書いてくださるので、誰もが参加できる楽団です。英語で歌ったり、ダンスも加わったりと、子どもから大人まで、みんな未知の分野にチャレンジして新たな自分を発見しています。何より仲間と演奏するのって素晴らしい!と実感させてくれます。特に最後の成果発表コンサートでは、舞台上の私たちと観客席がともに大盛り上がりし、格別な体験になりましたね。

物理的な距離を越えて、
舞台と客席をひとつに結ぶ技

阿部 コンサートで私たちがする音響の仕事は、舞台から客席に飛んでいく音が一体化するよう工夫します。舞台上の左右、背面、天井に音響反射板を組んでいればアーティストが出した生音はそのまま客席の方に伝わります。そこでヴォーカルがマイクを使うとステージ上部にあるスピーカーから出てくるのが通常ですが、同じ方向へ音が飛ぶようにするために、スピーカーを音響反射板の横に

設置するんですよ。

荻原 照明は客席からの舞台の見え方も大事にしながら、楽譜が見える光量は確保しています。それから、実は照明担当者も楽譜を読みながら操作をするんですよ。タイミングが大事なので。

ホール全体を包む音と光の魔法

里澤 楽譜が見える照明、光の演出、奥が深いですね。舞台の演出でホール全体のムードが変わり、私たちが後押ししてくれます。気持ちも盛り上がり、自分の楽器から出る音がとても心地いいんです。ホールならではの聴こえ方というか…。

阿部 お風呂の中で唄っているようなイメージですね(笑)

里澤 (笑)そうなんです。自分たちの演奏がお客様にどう聴こえるのか心配でしたが、ホール全体が素敵なハーモニーで包まれたことに感動しました!

阿部 舞台と客席の間には実際に距離があります。その物理的な距離を越えて一体感を作り出せると、感動が生まれると私は思っています。そのためには、バランスが大事になってきます。

荻原 照明の仕事も、本来舞台上の演者に華を添える役です。照明がメインではないのですが、細やかな感覚を表現する面白さがあります。例えば、「青」にもいろいろな青色があります。海の青色、空の青色、



それぞれ時刻や天気によっても変わってきますね。どんな青色で

表現したいのか、プロの演出家の注文なら「青の何番で」と指定されるので一発で分かります。でも、初めて利用する方なら『夕方の空みたいな青』『海の底のような青』と言ってもらえれば大丈夫。対話を重ねながら、言葉の奥にある理想のイメージと一緒に探しながら、オリジナルの色を創り上げていきます。

理想を形にする「引き算の美学」
「対話の文化」が息づく感動の舞台

阿部 初めてホールを利用する皆さんには、ぜひ遠慮なく相談してほしいですね。マイクが何本必要とか、何色の照明を!ということよりも、どんな演出をしたいかなどをお聞きして対話を重ねることで、私たちからも様々なアイデアを提案できます。派手な演出をたくさん足すよりも、あえてシンプルにすることで主役が一番輝く。裏方のプロが大切にしているのは、そんな「引き算の美学」です。実は足し算より引き算することがコツなんです。これが、裏方の仕事の面白さです。

荻原 小美玉市には3つのホールがあり、文化環境として大変恵まれています。日々あちこちでワークショップが開催されていて、住民の皆さんが主体となって生き生きと活動されている印象。ぜひ気軽に飛び込んでみてください。

里澤 ぜひ、これからもみんなと一緒に、感動の舞台を創りましょう。

CULTURE REPORT

2026年5月31日 / コスモス

ぎりえ作家滝平二郎生誕105年記念 私の花さき山

小美玉市出身のぎりえ作家・滝平二郎氏の生誕105年を記念し、玉里図書館で朗読会を開催しました。市内6団体が集結し、エピソードを筑波山に見立てたパネルへ飾る演出も好評でした。初参加の女の子も楽しむなど、地域で愛される作品の魅力を次代へ繋ぐ素晴らしい場となりました。(福島 ヤヨヒ)



2026年6月12日・13日 / みの〜れ

なつのぼどコレ あなたのぼ〜どがはじまり

みの〜れ全館がBIRD溢れる美術館に!「なつのぼどコレ」は、ぼ〜どコインでの買物や、生みの親ぼ〜どおたけのワーク等で大盛況。圧巻は園児のぬり絵が全席を埋めた森のホール! 美中美術部も参加し、次回「あきのぼどコレ」が早くも待ち遠しい企画でした。(福島 ヤヨヒ)



2026年6月27日 / コスモス

ジャズも!クラシックも!コンサート

クラシックからジャズまで多彩な音楽を届けるコンサートを開催。第1部はマイク無しの圧巻の歌声と楽しい曲解説で会場は笑顔に。第2部はボサノヴァやタンゴを披露。山下亮江さんの幅広い歌声と小林由佳さんの素晴らしい演奏に、心から感動し深く癒される時間でした。(加藤 篤子)



2026年6月9日 / 玉里学園義務教育学校

Kenjoy! けん玉ワークショップアウトリーチ

プロのけん玉師トーゴさんが1、2年生に向けてワークショップを開催。1年生は「できた!」の成功体験を、2年生は体でバランスをとる技術を習得しました。最後はトーゴさんの20連けん玉パフォーマンスが、子どもたちの声援のおかげで見事成功! 会場は笑顔と感性で溢れていました。(福島 ヤヨヒ)



2026年6月14日 / みの〜れ

住民エンタメ集団OMT-JAPAN お昼がすぎたらGO!GO!

OMT-JAPANの自主公演が風のホールで開催! 喜劇やジャグリング、マジックにギター漫談など多彩な演目で、会場は爆笑の渦に。タップ&ジャグリング教室の成果発表もあり、「これから続けたい」と語る参加者の笑顔が弾ける、大盛況のステージでした。(加藤 篤子)



2026年6月20日 / みの〜れ

まなびtoプラスvol.7 サタデー・ボドゲ・フィーバー

小池淳皓さん、福田仁史さんからボードゲームの魅力を伝授。自然と会話が生まれ、初対面でも打ち解け、新たな一面を発見できる最高の交流ツールだと実感しました。この人をつなぐ魅力はコスモスでも体験できます。次回「まなびtoプラス」は9月開催。ぜひ、新しいつながりを作りに来ませんか?(保田 孝雄)



INFORMATION

演劇Crew Cosmo's公演 白雪姫



- 日時 8月23日(日)①13:00 ②16:00
- 会場 コスモス 文化ホール
- 金額 無料
- 全席自由

2008年の「国民文化祭いばらき」をきっかけに結成された演劇Crew Cosmo's。第20回目となる今回は、「白雪姫」を上演します。

■販売中 / 0299-26-9111 (コスモス)

演劇ファミリーMyu
住民ミュージカル

クロノポスト〜拝啓、どこかのだれかさま〜



- 日時 10/10(土)①14:00 ②14:00
- 会場 みの〜れ森のホール
- 金額 高校生以上 1,000円
小中学生 500円
- 全席指定
- 小学生以上

時代も暮らしも違うふたりが手紙で心を通わせる、時を超えた物語。あなたもきっと、そばにいる大切な人へ感謝を伝えたくなるはず。

■販売中 / 0299-48-4466 (みの〜れ)

0歳からの参加型コンサート みゅ〜じゅく☆すた〜と!



- 日時 8月30日(日)①10:30 ②14:00
- 会場 みの〜れ 風のホール
- 金額 無料(中学生以下)
500円(大人/市内在住)
800円(大人/市外在住)
- 全席自由

泣いちゃってもOK! 座っていらなくてもOK! 声が出ちゃってもOK! はじめて触れる本物の音楽を思いっきり楽しんじゃおう!

■販売中 / 0299-48-4466 (みの〜れ)

team;ここから

“砂”と“音”の物語
〜サンドアートと生演奏によるコンサート〜



- 日時 10月25日(日) 13:30
- 会場 アビオス
ibatoyoゴールドホール(大ホール)
- 金額 1,000円
中学生以下 無料
- 出演 宇高靖人、宇高杏那
田中由惟、Kohei

砂が描き、音が奏でる、儚くも美しい物語。茨城県初のサンドアート×音楽。アビオスで、心ほどける特別なひとときを。

■販売開始 8月22日(土)10:00〜 / 0299-58-0921 (アビオス)

2026年 8月〜10月のイベント pick up ※このスケジュールは2026年6月23日に作成したものです。

開催日	イベント	開演	場所	主催・お問い合わせ先	料金
8月21日(金) 8月22日(土)	劇場技術者認定取得講座	11:00 10:00	みの〜れ	みの〜れ 0299-48-4466	一般 2,000円 学生 無料
8月22日(土)	学習イベント「虫を探そう!」番外編 標本教室	14:00	コスモス	コスモス 0299-26-9111	100円 (標本1体)
9月3日(木)	NHK全国放送公開番組収録 「新・BS日本のうた」	18:30	アビオス 茨城トヨタ ゴールドホール	アビオス 0299-58-0921	無料 (要抽選申込)
9月19日(土)	光と風のステージCue vol.85 「尺八&ギターの新しい響き」	19:00	みの〜れ 風のホール	みの〜れ 0299-48-4466	1,500円 (1ドリンク付)
9月20日(日)	和太鼓フェスタ	9:30	みの〜れ	みの〜れ 0299-48-4466	無料
9月20日(日)	OMITAMAまる市(マルシェ)	9:30	みの〜れ	みの〜れ 0299-48-4466	無料 (一部有料)
9月22日(火)	茨城トヨタネーミングライツ記念 キッズイベント〜アビオスであそぼ〜	11:00	アビオス	アビオス 0299-58-0921	無料
9月26日(土)	まなびtoプラス	14:00	みの〜れ	みの〜れ 0299-48-4466	無料
10月25日(日)	ポットラック楽団ワークショップ 成果発表	14:00	コスモス	コスモス 0299-26-9111	無料